



# 緑の地球新聞

第153号

2021年7月5日発行：公益財団法人 緑の地球防衛基金

## いま名もない砂漠がふえている 私たちは次の世代へ緑の地球を贈ろう

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館203  
☎ 03 (3297) 5505 Fax 03 (3297) 5507  
URL: <https://green-earth-japan.net/>  
e-mail: [defense@green.email.ne.jp](mailto:defense@green.email.ne.jp)  
郵便振替口座 00110-9-161182 定価 ¥150

### 順調に生育している馬尾松の苗木と カントンアブラギリの種子 ーベトナム・ラオカイ省植林事業の現地報告ー

当基金が、2020年4月にベトナム政府との間で覚書を締結し、これまで実施してきた「ベトナム・ラオカイ省環境保護植林事業」は、2020年11月に3万本の植林が終了しています。

本件事業の進捗状況等に関して、今般ベトナム政府から、現地報告が送られてきましたので、その内容を紹介します。馬尾松の苗木、カントンアブラギリの種子が順調に生育している様子などが記されています。

#### 1. 植林場所の平均気温と降雨量

植林場所は、ラオカイ省シマカイ郡ナンサンコミュニティ（ナンサン集落）の15ヘクタールの地です。ラオカイ省は、ベトナム社会主義人民共和国（以下、「ベトナム」という。）の最北部に位置し、シマカイ郡ナンサンコミュニティ（ナンサン集落）は、



写真1 植林エリアに掲示されたプロジェクト案内板

ラオカイ省の中心部から約100km離れた中国との国境に接した地域です。植林場所には本件プロジェクトの案内板が設置されています。（写真1）

ベトナム最北部の山間地帯に位置するシマカイ郡の気候は寒く、2020年11月から2021年4月までの最初の6か月間の平均気温は16.5℃で、特に11月から1月の平均気温は15.0℃に止まりました。加えて、昼と夜の温度差はかなり大きくなっています。また、平均降雨



写真2 順調に生育する馬尾松の苗木。高さは60～80cmに、新しい芽も10～30cmに成長しています。（2021年5月）

量は、ラオカイ省の他の地域と比較してもかなり少なく、11月から2021年4月までの6か月間の合計降雨量は約400ミリメートルに止まっています。このような平均気温、降雨量などの気候条件は一般的に苗木の成長を制限しますが、本件プロジェクトではこれまで大きな影響は生じていません。

#### 2. 順調に成長している苗木等の状況

①馬尾松（タイワンアカマツ）の苗木  
2020年8～9月に2万7,000本植栽された馬尾松の苗木は順調に成長しており、生存率約90%で、高さは60cm～80cmに達し、新しい芽も10cm～30cmに成長しています。（写真2）2021年2月には最初の施肥を行いました。（写真3）今後の動向次第ですが、現在の生存



写真3 施肥の様様。事業2年目に初めて土壌を耕しました。（2021年2月）

率が維持されると、年末までは追加の植栽は必要ないと判断しているとのことです。

②カントンアブラギリの種子

2020年10～11月に直播された種子は、降雨量が非常に少なくすぐ乾燥していたため、2021年1月ようやく発芽段階を迎えました。発芽率は約85%で、発芽は非常に安定していたため、ロットに植え替えられました。写真4～6が関連



写真5 発芽段階にあるカントンアブラギリの写真。(2021年1月)



写真4 カントンアブラギリの直播の様相。(2020年11月)



写真6 カントンアブラギリの種子が発芽し、高さが15cm～18cmに達しています。(2021年5月)

の写真です。写真4は2020年11月に種まきを行っている様子、写真5は2021年1月、発芽段階を迎えた種子の様子、写真6は、2021年5月の時点で、発芽したカントンアブラギリの高さが15cm～18cmに達している様子です。

なお、本件事業のベトナム側責任者として関わっているラオカイ省植林プロジェクトチームは、苗木の成長の状況や、発芽していない苗木の枯死数を定期的にチェックしています。今後、本年(2021年)9月から10月にかけてこれらのデータを再点検し、補植を行うかどうか最終決定することになります。

3. 本件事業に対するベトナム側評価

ベトナム政府側は、本件の事業実施が、①地域の環境、水資源を保護し温室効果と気候変動を最小限に抑える効果があること、②地元世帯が植林及び保全作業に参加することで

収入の増加、追加の雇用を生み出し、社会経済発展に貢献することなど高い

く評価しており、長期的な協力関係の構築に強い期待を寄せています。

減少を続ける世界の森林面積 減少ペースは鈍化  
—国連食糧農業機関 (FAO) 公表—

国連食糧農業機関 (FAO) は、「世界森林資源評価2020」を昨年7月に公表しました。

同報告によると、2020年の世界の森林面積は約40億6,000万ha(ヘクタール)で、陸地の31%を占めています。世界の森林面積は、1990年以降減少を続けており、2020年までの30年間で1億7,800万ha(日本の国土面積の約5倍)が減少しました。

森林面積の減少ペースは、1990年以降10年毎に年平均784万ha、年間純減少率0.19%(1990～2000年)↓年平均517万ha、0.13%(2000～2010年)↓年平均474万ha、0.12%(2010～2020年)と鈍化しつつあります。その最大の要因は、植林などにより一部の地域で森林が増加したことです。

直近の2010年～2020年の森林面積の状況を地域別に見ますと、アフリカにおける減少ペースが最大(年平均390万ha)で、しかも2015年からの5年間は、減少ペースが年平均441万haに増えています。一方アジアでは、中国の

植林による森林の増加(年平均194万ha、年間純増加率0.93%)などにより、アジア地域全体で純増傾向となっています。(注:個別に見ると、カンボジア、インドネシア、ミャンマーなどにおいて森林が大きく減少しているとのことです。)

なお、直近10年間における森林面積の最大の減少国はブラジルで、コロンビア、インドネシアなどが続いています。過去30年間における森林減少の9割以上は熱帯地域で生じているとも指摘されています。

近年、ブラジルのアマゾン地域やオーストラリア、インドネシア等大規模な山火事の報道等が相次いでいます。この報告書では、山火事等に関する利用可能な直近のデータは2015年のものにとどまっていますが、2015年には熱帯地域で全森林の4%が燃えるなど多くの火災が発生し、9,800万haの森林が火災の影響を受けたことが報告されています。また、火災により影響を受けた森林の3分の2以上はアフリカおよび南米であったとのことです。

さらに、同じく2015年のデー



タですが、温帯及び亜寒帯を中心に約4,000万haの森林で病虫害や気象害が生じたとのことです。森林は、地球温暖化や生物多様性

## 気候変動問題に関する首脳会議 (気候サミット) が開催される

2021年4月22日〜23日、米  
国主導で40の国・地域の首脳らが  
参加した気候変動問題に関する首  
脳会議(気候サミット)がオンラ  
イン形式で開催されました。

会議では、温室効果ガスの排出  
削減に関して、2030年までに  
温室効果ガスを概ね半減するとの  
新たな目標を、日本、米国、英国、  
カナダなどの先進国が相次いで公  
表(別表参照)するなど、地球温  
暖化対策の国際的枠組み「パリ協  
定」の目標達成に向けて、取り組  
みを強化する動きが見られました。

今般、先進各国が2030年の  
排出削減目標を、従来目標よりも  
一段と引き上げた背景には、「パリ  
協定」が「産業革命以降の地球の  
平均気温の上昇を2度未満に抑え  
る(出来れば1.5度を目指す)」  
と定めているものの、各国が表明  
してきた温室効果ガス削減目標を  
合計しても「パリ協定」の目標達  
成にはほど遠く、今世紀内に3度  
以上の気温上昇に向かっていてこ  
とへの強い危機感が共有されてき

の観点をはじめ、私たち人類に欠か  
せない存在であることを今一度心に  
止めて、その保全に努める必要があ  
ると思われれます。

たことがあります。

加えて、トランプ政権時代には  
気候変動問題の解決に消極的で  
あった米国が、バイデン政権下で  
積極姿勢に転換したことを対外的  
に示す狙いから、米国自体の排出  
削減目標を大きく引き上げるとも  
に、首脳会議に参加する各国に  
対して、国別排出削減目標の引き  
上げなど気候変動対策を強化する  
よう事前に要請したことが大きい  
と言われています。

一方、温室効果ガスの排出量が  
現在世界1位の中国、3位のイン  
ド、4位のロシアはいずれも排出  
削減目標の引き上げを見送り、先  
進国と新興国・途上国間での取り  
組み姿勢の温度差が、改めて浮き  
彫りになったことも目につく結果  
になりました。

地球全体を見渡しますと、先進  
国が温室効果ガス削減を積極的に  
進めても、振興国・途上国で排出  
量が増加すれば、その効果は相殺  
されてしまいます。気候変動問題  
は、先進国と振興国・途上国との

協調なしには進みません。しかし、  
振興国・途上国の側は、長きにわ  
たって温室効果ガスを大量に排出  
し経済成長してきた先進国こそが、  
より大きな削減目標を持つべきだ  
と考えています。

さらに中国は、自らは先進国ほ  
どに積極的な温室効果ガスの排出  
削減を行わない一方で、例えば電  
気自動車や太陽光発電などもその  
一例ですが、温暖化対策の技術は  
世界の先端を目指し、その技術と  
資金を海外に積極的に供与するこ  
とで世界を主導しようとの狙いを  
有すると言われています。これは  
米国にとって許容できるものでは  
なく、こうした各国の相容れない  
考え方の違いが、気候変動問題の  
取り組みを一層難しく複雑なもの  
としていると言えます。

2021年11月には、英国で気候  
変動枠組条約第26回締約国会合(C  
OP26)が開催されます。今後気候  
変動問題に関してどのような議論が  
グローバルに展開されていくのか、  
その成り行きが注視されます。

なお、我が国も、2030年の  
排出削減目標を26%減から46%減  
へと大幅に引き上げました。2030  
年の50%削減と、2050年の温  
室効果ガス実質ゼロ(カーボン  
ニュートラルの実現)が、欧米先  
進国のスタンダードとなる中で、  
我が国も追いつけざるを得なかった  
のでしようが、再エネの拡大をは  
じめその実現には巨額のコストを  
要します。気候変動という安全保  
障と経済への影響(費用対効果)  
を精査しつつ、しっかりと国益を守っ  
ていくことが求められます。

(別表)  
主要国の2030年の温室効果ガス削減目標

	従来の削減目標	気候サミットで 公表された 新たな削減目標
日本	2013年比▲26%	2013年比▲46%
米国	2005年比▲26- ▲28%	2005年比▲50- ▲52%
英国	1990年比▲68% (2030年)	1990年比▲78% (2035年)を追加
カナダ	2005年比▲30%	2005年比▲40- 45%
EU	それまでの1990 年比▲40%削減目 標を55%に引上げ (2020年12月に 決定)	—
中国	2030年までに減少 に転じさせ、2060 年までにカーボン ニュートラルを達成	変化なし(従来の削 減目標を公表)
ブラジル	2060年までにカー ボンニュートラル達成	2050年までにカー ボンニュートラル達成

## (コラム) 地球温暖化防止に森林が果たす役割

森林が地球温暖化防止に役立つているのは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収する機能があるからです。

では、1本の樹木は1年間にどれくらいのCO<sub>2</sub>を吸収するのでしょうか。また、日本の森林全体では1年間にどれくらいのCO<sub>2</sub>が蓄えられるのでしょうか。

森林の樹木は、光合成により成長しながら、大気中のCO<sub>2</sub>を吸収し、有機物に変え、栄養として幹や枝に蓄え続けます。樹木は炭素の貯蔵庫とも呼ばれ、実に木材の重量の約半分を炭素が占めているとのこと。しかも、切り出されて木材となり住宅や木製品に使われても、CO<sub>2</sub>は炭素として閉じ込められたままです。つまり、樹木は大気中のCO<sub>2</sub>を長年にわたって固定・蓄積できる優れた機能を有しているのです。

では、1本の樹木は1年間にどれくらいのCO<sub>2</sub>を吸収するのでしょうか。

樹木の種類や年齢によって、吸収し蓄積できるCO<sub>2</sub>の量は異なります。林野庁によると、例えば、適切に手入れされている80年生のスギの人工林だと、1本の樹木が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量は約14キログラ

ムだそうです。

人間一人が呼吸により1年間に排出するCO<sub>2</sub>の量は約320キログラムですので、これを吸収するには前述のスギだと約23本が必要になります。また、家用車1台が1年間に2、300キログラムのCO<sub>2</sub>を排出する場合を例示し、これを吸収するには前述のスギ約160本が必要になるとしています。

林野庁によると、日本の森林全体で1年間に蓄えられるCO<sub>2</sub>は、単純計算で約8、300万トン程度だそうです。ちなみに2019年度の日本の温室効果ガス排出量はCO<sub>2</sub>換算で12億1、200万トンですので、森林全体が蓄えるCO<sub>2</sub>の大きさが理解できるかと思えます。

世界全体で見ても、森林による炭素吸収量は、化石燃料の燃焼による炭素排出量の10〜20%に相当すると予測されています。

ただしこうした数字は、「手入れが行き届いた人工林」が条件です。枝打ちや間伐など手入れが行われていない荒れた森林では、CO<sub>2</sub>を吸収し炭素を蓄える力が激減するので、「植林」を含めて森林を手入れすることが、地球温暖化防止のために極めて重要なことが分かります。

たくさんの使用済み切手など  
ありがとうございました

使用済み切手等売上表  
(3月16日~6月15日)

未使用テレホンカード	0円
未使用/使用済み切手	111,094円
未使用/書き損じハガキ	0円
外国コイン&紙幣	1,860円
合計	112,954円

### 使用済み切手等協力者

(3月16日~6月15日敬称略)

市川浩一、榎本邦彦、大田雄一、孝田荘屋、後藤寛人、田ノ井知子、富沢千代、中泉亜紀、中野寿人、橋本孝、羽生佳代子、林央、三浦一正、宮本健吾、柳憲一郎、匿名

### 同法人・団体協力者

(3月16日~6月15日敬称略)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(社)愛知県社会福祉協議会、(社)青森県社会福祉協議会、(株)朝日工業社、安藤産業(株)、ENEOS(株)関東第2支店、(株)奥村組、小田急不動産(株)、カケケイ(株)、鹿島建設(株)、(社)春日井市社会福祉協議会、神奈川少年友の会、喜界町役場まちづくり課、(社)北広島市社会福祉協議会、共和食品(株)、近畿容器(株)、コーユーレンティア(株)九州支店、(株)櫻井千田、(株)さ

### 寄付協力者

(3月16日~6月15日敬称略)

くら工業所、三洋テクノマリン(株)、シーキューブ(株)、JXビジネスサービス(株)、清水建設(株)営業総本部、清水建設(株)名古屋支店、聖セシリア女子短期大学、(株)世界貿易センタービルディング、(社)袖ヶ浦市社会福祉協議会、大成建設(株)横浜支店、高千穂ライオンズクラブ、(株)タクマ播磨工場、「小さな親切」運動愛媛県本部、「小さな親切」運動本部、「小さな親切」運動山口県本部、デジタルプロセス(株)、東洋熱工業(株)、戸田建設(株)、トヨタL&F福岡(株)、(社)名古屋社会福祉協議会、ニッパツ・メック(株)、(株)ハシモト、(株)ハヤシ配送サービス、パナソニックホームズ労働組合、日立建機労働組合本社支部、(株)フクスイ、富士通(株)、富士通コミュニケーションサービス(株)、(株)富士通パーソナルズ、富士通(株)富士通ソリューションズ、富士通(株)富士通ソリューションズ、フルテック(株)東京支店、マールトレーディングジャパン(株)、(社)箕面市社会福祉協議会、(株)ミライトテクノロジーズ緑の会、(株)メデイパルホールディングス

SMBCFアインランスサービス(株)、MS&ADシステムズ(株)、海宝正憲、山陽物産(株)、(株)乗馬クラブクレイン、幅田博樹、日笠山正治、福助工業(株)、ポランティアベンダー協会、松本秀勝、三井貞夫、森口修、守屋森次、安永ミワヨ